

平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年11月4日

上場会社名 トレンドマイクロ株式会社

上場場所 東証一部

コード番号 4704

URL <http://www.trendmicro.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 エバ・チェン

問合せ先責任者 役職名 代表取締役(CFO兼COO)

氏名 マヘンドラ・ネギ

TEL (03)5334-4899

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年12月期第3四半期の連結業績(平成20年1月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年12月期第3四半期	77,677(－)	24,473(－)	25,987(－)	14,392(－)
19年12月期	99,805	33,476	38,096	23,561

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年12月期第3四半期	107.53	107.38
19年12月期	176.95	175.88

(注)当第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年12月期第3四半期	186,648	100,718	52.3	730.66
19年12月期	201,052	110,730	54.3	808.24

2. 平成20年12月期第4四半期および通期の連結業績予想

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第4四半期 (平成20年10月1日～ 平成20年12月31日)	(－) 24,400	(－) 7,400	(－) 7,500	(－) 4,800	35.96
通期 (平成20年1月1日～ 平成20年12月31日)	(2.3%) 102,077	(△4.8%) 31,873	(△12.1%) 33,487	(△18.5%) 19,192	143.78

(注記)当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは困難であると考えております。

また公表された直近の予想値に対し、売上高が10%、営業利益、経常利益もしくは当期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(単位: 百万円)

	売上高
	平成20年12月期第3四半期
日本	29,114
北米	19,847
欧州	18,874
アジア・パシフィック地域	7,536
中南米	2,303

当第3四半期連結累計会計期間(平成20年1月1日～平成20年9月30日)は、年初より景気の先行き不透明感は世界的に増しておりましたが、下半期に入ってから米国のサブプライムローン問題が米国金融業界の大型再編へと発展し、未曾有の金融危機を迎える中、推移いたしました。負債総額において米国過去最大の倒産を記録したリーマン・ブラザーズの破綻を皮切りに、米大手金融機関は相次いで買収や公的資金の注入、日本の金融機関からの出資を受けるなどの事態となりました。この米国発の金融危機は欧州をはじめ全世界に飛び火し、各国中央銀行による一斉利下げや急激な世界株安、為替の混乱などの連鎖を起こし、輸出入など実体経済にも混乱を広げつつあります。わが国経済も円高のあおりを受けただけでなく、従前からの原油・原材料価格の高騰の影響などにより、8月の貿易収支は26年ぶりの貿易赤字を記録しました。また、同月の月例経済報告では日本経済の景気後退入りを事実上認める形となり、世界経済は世界同時不況の入り口に立っているという声も多く聞く状況であります。

このような状況下、当企業集団の業績につきましては、以下のように推移いたしました。

日本は各地域の中で最も売上高構成比が高く、また市場シェアも高い地域であります。堅調な伸びを示し29,114百万円となりました。

北米地域は、昨年同期と比較してドル円レートが大幅に円高になるも、個人ユーザ向けビジネスが牽引し19,847百万円となりました。

次に欧州地域は、フランスやイタリアが伸長し、とりわけ中東が大きな伸びを示し18,874百万円となりました。

アジア・パシフィック地域は政情不安や為替の影響もあり、低調な推移となり7,536百万円となりました。中南米地域においてはブラジルが伸びたもののメキシコが低調な結果、2,303百万円となりました。

以上の結果、連結売上高は77,677百万円となりました。

一方、費用につきましては、主に新規雇用の拡大に伴う人件費の増加やマーケティング費用が大幅に増加した結果、売上原価および販売費及び一般管理費の合計費用は53,204百万円となり、当第3四半期の営業利益は24,473百万円、経常利益は25,987百万円、そして四半期純利益は約20億円の投資有価証券評価損が大きく影響し14,392百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の現金及び預金の残高は65,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,534百万円の増加となりました。また、当四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ有価証券・投資有価証券が大幅に減少し、14,403百万円減少の186,648百万円となりました。

一方、当四半期末の負債は85,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,391百万円減少いたしました。当四半期末の純資産は配当の支払いや自己株取得を行ったことにより前連結会計年度末に比べ10,012百万円減少の100,718百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は短期的に大きく変動する傾向にあり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を算出することは困難であると考えております。当社としましては、それに代わりまして四半期の業績発表時に次四半期の業績見通しを公表することとさせていただきます。

なお公表された直近の予想値に対し、売上高が10%、営業利益、経常利益もしくは当期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

平成20年12月期第4四半期業績見通し(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

連結売上高	24,400百万円
連結営業利益	7,400百万円
連結経常利益	7,500百万円
連結純利益	4,800百万円

上記業績予想値の策定にあたって、想定しております平成20年12月期第4四半期の為替レートの主要なものは下記の通りであります。

1米ドル	90円
1ユーロ	115円

平成20年12月期通期業績見通し(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

連結売上高	102,077百万円
連結営業利益	31,873百万円
連結経常利益	33,487百万円
連結純利益	19,192百万円

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準及びその他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しています。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	(参考) 前連結会計年度 (平成19年12月31日)
	金額	金額
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金及び預金	65,626	54,091
2 受取手形及び売掛金	21,066	26,672
3 有価証券	42,865	58,021
4 たな卸資産	533	525
5 繰延税金資産	12,499	10,734
6 その他	6,254	4,606
7 貸倒引当金	△749	△828
流動資産合計	148,096	153,824
II 固定資産		
1 有形固定資産		
(1) 器具及び備品	3,778	3,855
(2) その他	1,020	954
有形固定資産合計	4,799	4,809
2 無形固定資産		
(1) ソフトウェア	3,130	2,873
(2) のれん	2,565	2,790
(3) その他	859	1,318
無形固定資産合計	6,555	6,982
3 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	17,648	27,328
(2) 関係会社株式	272	268
(3) 繰延税金資産	8,269	7,135
(4) その他	1,020	717
(5) 貸倒引当金	△13	△15
投資その他の資産合計	27,197	35,435
固定資産合計	38,552	47,227
資産合計	186,648	201,052

(単位：百万円)

科目	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	(参考)前連結会計年度 (平成19年12月31日)
	金額	金額
(負債の部)		
I 流動負債		
1 支払手形及び買掛金	679	775
2 未払金	2,926	2,868
3 未払費用	3,762	3,924
4 未払法人税等	2,934	9,223
5 賞与引当金	1,682	1,345
6 返品調整引当金	949	641
7 短期繰延収益	52,272	54,620
8 その他	4,071	2,971
流動負債合計	69,279	76,371
II 固定負債		
1 長期繰延収益	15,244	12,833
2 退職給付引当金	1,392	1,098
3 その他	14	17
固定負債合計	16,651	13,949
負債合計	85,930	90,321
(純資産の部)		
I 株主資本		
1 資本金	18,269	17,838
2 資本剰余金	20,991	20,561
3 利益剰余金	82,434	83,116
4 自己株式	△21,826	△15,140
株主資本合計	99,869	106,375
II 評価・換算差額等		
1 その他有価証券 評価差額金	△1,228	△39
2 為替換算調整勘定	△1,108	2,827
評価・換算差額等合計	△2,336	2,788
III 新株予約権	3,173	1,550
IV 少数株主持分	12	16
純資産合計	100,718	110,730
負債純資産合計	186,648	201,052

(注) 四半期連結貸借対照表は当第1四半期より開示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年1月1日 至平成20年9月30日)	(参考)前連結会計年度 (自平成19年1月1日 至平成19年12月31日)
	金額	金額
I 売上高	77,677	99,805
II 売上原価	12,102	17,220
売上総利益	65,574	82,584
III 販売費及び一般管理費	41,101	49,108
営業利益	24,473	33,476
IV 営業外収益		
1 受取利息	2,301	2,969
2 有価証券売却益	93	2,521
3 持分法による投資利益	51	63
4 その他	51	276
営業外収益合計	2,497	5,831
V 営業外費用		
1 支払利息	3	13
2 有価証券売却損	480	71
3 為替差損	423	1,001
4 その他	76	123
営業外費用合計	982	1,210
経常利益	25,987	38,096
VI 特別利益		
1 貸倒引当金戻入益	42	33
2 新株予約権戻入益	-	5
特別利益合計	42	39
VII 特別損失		
1 固定資産除却損	-	35
2 投資有価証券評価損	1,962	114
3 訴訟和解金	241	-
特別損失合計	2,203	150
税金等調整前 四半期(当期)純利益	23,826	37,985
法人税等	9,429	14,417
少数株主利益	4	5
四半期(当期)純利益	14,392	23,561

(注) 四半期連結損益計算書は当第1四半期より開示しております。